

出題ミスをふまえた採点基準

武蔵野美術大学
入試本部

- ①問題用紙において、設計条件に「設計事務所」と記載されていましたが、正しくは「建築設計アトリエ」でした。
→「設計事務所」を設計していた場合でも減点の対象とせず採点しました。
- ②問題用紙において、解答として求める計画概要のうち「建築面積」が「敷地面積」と記載されていました。
→「建築面積」ではなく「敷地面積」が記載されている場合も減点の対象とせず採点しました。
- ③別紙において、用途地域が「第一種住宅地域」と記載されていましたが、正しくは「第一種住居地域」でした。
→「建蔽率」「容積率」は正確に記載されているため、「建蔽率」、「容積率」に基づき採点を行いました。
- ④問題用紙において、敷地条件に「接道：北側 5m」と表記されていましたが、別紙では「接道条件：北側 5m」と記載されていました。
→解答において、「接道」に係る記載については減点対象とせず採点しました。
- ⑤別紙において、地盤面の高さを表す数値「-2000」「-4500」が「±2000」「±4500」と記載されていました。
→地盤面の高さを誤った解答はありませんでした。
- ⑥別紙において、平面図では記載されていない敷地外の樹木が断面図に記載されました。
→解答において、当該箇所については減点対象とせず採点しました。
- ⑦別紙の断面図において、赤破線で表記されるべき箇所が黒太線で表記されました。
→解答において、当該箇所については減点の対象とせず採点しました。
- ⑧別紙において、平面図で「13000」と記載されていた数値が断面図では「15000」と記載されていました。
→数値が「15000」を前提として解答されている場合も減点の対象とせず採点しました。